

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回朝霞市産業振興基本計画策定委員会
開 催 日 時	平成30年 5月 14日（月） 午後3時00分から 午後5時00分まで
開 催 場 所	朝霞市役所 本館5階 502会議室
出 席 者	委員9名（福田会長、高橋(甚)副会長、藤田委員、渡辺委員、橋本委員、高橋(隆)委員、清水委員、小林委員、久保委員） 代理出席1名（後藤氏） 事務局5名（清水市民環境部次長兼産業振興課長、森田同課課長補佐、奥田同課専門員兼産業労働係長、同課同係大貫主査、石崎同課農業振興係長） 株式会社富士通総研（株クニエ） 高橋氏、松田氏
会 議 内 容	1 これまでの議論及び今後のスケジュールについて 2 市の実施している主な事業の紹介 3 産業振興基本計画における施策体系（案）
会 議 資 料	次第 資料① 朝霞市産業振興基本計画 中間報告書 資料② 産業実態に係るアンケート調査報告書 資料③ 既存事業一覧 資料④ 施策体系一覧（案） 資料⑤ 策定スケジュール 資料⑥ ご意見アンケート 《参考》 朝霞市産業振興基本計画策定委員会委員名簿 朝霞市産業振興基本計画策定に係る先進地視察について 朝霞市産業振興基本計画策定に係る先進地視察の報告について 日程調整表
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）

	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員全員による確認	
その他 の 必要事項	傍聴人 0人	
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）		
<p>○1 開会 （事務局：大貫） それでは定刻となりましたので、朝霞市産業振興基本計画策定委員会第5回の会議をはじめさせていただきます。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。進行を務めさせていただきます、産業振興課の大貫です。よろしく申し上げます。議事に入る前に、お手元の資料の確認をお願い致します。</p> <p>【資料確認】</p> <p>それでは、朝霞市産業振興基本計画策定委員会委員名簿を御覧ください。前回の委員会から委員に変更がありました。また今年度初めての委員会ということもございますので、委員の皆様から自己紹介を兼ねて一言ずつお願いいたします。初めに福田会長、続いて高橋副会長からごあいさつをいただき、名簿の上から順に一言申し上げます。</p> <p>【委員自己紹介】</p> <p>（事務局：大貫） 続きまして、4月1日付の人事異動により事務局にも変更がありましたので、自己紹介をさせていただきます。</p> <p>【事務局自己紹介】</p> <p>（事務局：大貫） なお、4号委員の田中委員、5号委員の上園委員、7号委員の鈴木委員、8号委員の小瀧委員からは欠席の旨を御連絡いただいております。 それでは議事に入りたいと思いますが、福田会長に進行していただきます。 福田会長よろしくようお願いいたします。</p> <p>（福田会長） 議事に入る前に、本委員会は、原則公開することとなっておりますので、傍聴要領に基づき傍聴を許可したいと思います。本日の傍聴者はいらっしゃいますか。</p>		

(事務局：石崎)

本日の傍聴者は、いらっしゃいません。

(福田会長)

本日の傍聴者はおりませんが、会議の途中で傍聴希望者があった場合には、傍聴席の範囲内で入場していただきますので、御了承ください。

なお先日葉山町へ視察に行ってきました。その件について御報告いただけますでしょうか。

【大貫主査より葉山ステーション視察に係る説明】

(福田会長)

まとめていただいた資料がありますが、パンフレット等も拝読いただければと思います。なお、視察に参加された方で補足等、何か御意見ありますか。

(高橋（甚）副会長)

葉山町商工会が何億円といった借金を背負い、事業を進めていったことについて、よく理事会を通したと感服しました。そうした英断は素晴らしいと思います。

もう一点、朝霞市と比較して田舎ではあるものの、全国的に葉山ブランドがしっかりあるという点を羨ましく思いました。「あさか」の商品を売るとなるとやや厳しいという感覚を持ちました。

(橋本委員)

「地域に愛される個店」をまず作らないといけないと聞いて、確かにそうだなと再認識しました。また朝霞においても、事業を動かすキーマンが必要だと思います。

その他には、地元の商店が作ったものを地元の物産センターで売っているということも、非常に良かったと思います。

(藤田委員)

葉山ステーションができるまで、相当な苦労があったことを知ることができました。そうした中、地域のために何ができるかという本気の想いがあり、行政の方も交えてやっていった事例だと思っています。近隣も開発がされており、今後はさらに観光の名所になっていくのかと見ていました。

(小林委員)

実際に高速道路 IC 前ということ等の好立地な点を活かし、成功している事例だと思いました。朝霞では、立地等の条件が違うということを確認しました。

(福田会長)

2時間程度滞在するなかで、周辺地域がどうなっているのか等も見学できればなお良かったかと思う反面、良い視察になったと思います。

事務局からも、年間130回を超える会議を行い、すべて議事を取る等、苦勞したという話もお伺いできました。

ただし、この事例の場合、30年前からの葉山マーケットという朝市が元になっており、朝市の成果が出ているということがこの事例の動機付けになっていると思います。投資額4億円、年商8億円ということで、学ぶところは非常に多くありますが、他にも出店されている方は、自身の既存店を經營しつつ出店しているということです。出店による相乗効果があり、店主からしてもたくさんのメリットがあると思われませんが、きわめて戦略的にやっているということでした。

なお、商工会のステータスの向上や、經濟効果等の幅広い効果を垣間見ることができました。

それでは議事に入ります。(1)のこれまでの議論及び今後のスケジュールについて、説明を事務局からお願いします。

【資料1、資料2及び資料5に基づき大貫主査より説明】

(事務局：奥田)

補足ですが、計画期間を10年とした場合に、見直しを5年で行うとアナウンスしましたが、見直しは随時していくことを想定しており、5年というのは、あくまで大きな見直しをする目安と考えております。

(福田会長)

10年というのは長すぎるので、新しい内容を追記するかたちで修正していくことが必要だと思います。

とはいえ、資料1の54ページには施策の方向性を書いていただいておりますが、これらを活用していきながら、中期的な視点で議論していくことが必要かと思えます。その際には、事業の優先順位を考えながら、具体的なものを進めていくための議論も必要かと思えます。市民の懇談会という話もありましたが、そうした場合に参加者に分かりやすいようにすることが重要であると思えます。

それでは委員の方から、何か御意見あればお願いします。

(高橋(甚)副会長)

まず確認したい点として、本計画は、今回の策定が初めてということで良いでしょうか。また計画自体も10年で考えて、5年経った際に見直すということで良いでしょうか。

(事務局：奥田)

朝霞市ではこれまで商業振興ビジョンは作ったことはありますが、包括的な産業ビジョンは初めてとなっております。また期間については、現状、おっしゃる通り10年で

5年経った際に見直しを考えております。

(福田会長)

資料1での前半では各種統計を取りまとめていただいておりますが、社会や経済の動向が変わってきて、併せて産業がどう変わっているかというトレンド等、朝霞市という地域を考える前に、全体がどう変わっているのかという点について少し盛り込む必要があるかと思えます。国が、何をどうしようとしているのか、という点も踏まえることが必要だと思えます。

例えば、各業種のサービス化が進んでいることや、生産性の問題を考慮したうえで、生産性の高い朝霞市のサービス業は何かといった観点も出てくると思えます。

(渡辺委員)

統計情報に記載のある業種別のデータに関して、経営者・従業員も含めて年齢の推移を把握できれば、なお良いと思えます。

(福田会長)

経済センサスのデータを活用しているため、現状では細かい年齢推移を把握することは難しいかと思えます。

なお、市民に密接に関連する商業やサービス業に関する記載が資料1上段にあります。市民向けの多様な事業については、今回の検討のなかで目玉として記載する可能性もあると考えています。

(高橋(甚)委員)

今お話にあったとおり、朝霞市の住民を視野に入れた記述が多いと思えますが、他地域から人を呼び込むといったような記載はありますか。

現状、あまり明確な誘致等のイメージを持っていませんが、過去にはホンダの世界本社の話もありました。どちらにせよ頓挫している計画ですが、日大の大学病院の話も過去に出ておりました。

(福田会長)

例えば、時間はかかりますが、資料1の51ページにある、生活環境づくりと記載のあるとおり、女性の起業家など、職住近接のかたちを作るということも重要になってくるかと思えます。こうしたことにより、住み続けたいという人を増やしていくことを視野に入れ、記載いただいていると思えます。

他にも人口規模が13万人であることから、小金井市や武蔵野市等、朝霞市と産業構造も似ていると思えますが、そういった都市の状況も見ながら検討していくことが重要かと思えます。

【資料3に基づき奥田専門員・森田課長補佐・石崎係長による説明】

(福田委員)

現在、実施している事業の紹介をしていただきましたが、資料1の51ページ以降の課題と関連する事業、期待できる事業等として紐づける必要があると思います。要するに、9つの課題があり、実施していくにあたって、足りない部分を含めて交通整理していく必要があると思います。

(事務局：奥田)

場合によっては、次回以降に整理をしていきたいと思います。

【資料4に基づき奥田専門員・森田課長補佐による説明】

(福田会長)

説明いただいた点について、御意見等あればと思います。

(渡辺委員)

例えば、商工会としては産業フェアや、商工祭り等で活性化を図っている状況です。産業フェアでは子供向けの催しや、大人の方にも見てもらえる工夫をしております。

(高橋(甚)副会長)

例えば仮想工業団地という取組があります。朝霞地区4市の商工会が参加して情報交換やお見合いを含めて取り組んでいます。日本全国の商工会議所が運営するザ・ビジネスモールというサイトもあり、企業を検索できるようになっています。

他には和光市の理科研の研究所内にインキュベーションプラザというものがあります。中小機構が運営していますが、過去には、朝霞市の企業も入居していたということです。バイオやソフトウェアIT等も入ってきているということでした。

(福田会長)

1市ではやはり限界もあると思いますので、広域的な展開も視野に入れておくことも重要だと思います。

(高橋(甚)副会長)

近隣の商工会では工業関係のみならず、新規に起業したいという方に対して安く場所を提供しているということをしています。

(藤田委員)

金融機関という観点から考えると、創業関連、空き家対策関連のファイナンス部門でお手伝いできるかと思います。

その他、企業誘致について記載がありましたが、場所の確保は検討していく必要がある

ると思います。専門コーディネータの派遣に関しては、国の事業や試作を周知徹底するということをした方が良いと思います。

(渡辺委員)

工業系の部会としては、補助金の制度等を勉強したりしております。その他、コマ対戦と類似した取組もありますが、まだ大掛かりなものとはなっていません。

(福田委員)

横浜市のミナロという企業では同様の取組をしている代表の方がおり、メディア露出等を含め様々な効果を生んでいます。続いて橋本委員いかがでしょうか。

(橋本委員)

商店街の空き店舗は、商品がない状態と同じだと思います。買いたいものがない場合、他地域に消費が流出してしまうと思います。空き店舗対策は、これは時間もかかると思いますが、他の事例を参考にしながらやらないといけないと思います。

その際、キーマンとして、若い方を入れることが非常に重要だと思います。人口が増えている朝霞市ですから、若い方を中心に据えてやっていくことができれば良いと思いました。

同時に、今できるイベントもあると思います。空き店舗もすでに多くありますが、そこに魅力的な小さなお店を出すという取組もあると思います。人気のある街は、商店街や行政、店舗、市民のどのレベルでも情報発信力が高いということでした。

例えば香川県の直島では、人口 3,500 人程度ですが、モダンアートを至る所に設置しており、賑わいを生んでいるということでした。朝霞市にはアートマルシェというものもあります。そうしたイベントにもプラスアルファすることで出来る取組もあると思いました。

他にも名所等の名前を変えることによって、知名度を変えることもあります。朝霞本町商店街の中に神社があり、昔は荒船神社と称していましたが、出雲大社の分社という名称に変更することによって、年末年始に大変込み合うようになっています。名前を変えることによって、知恵を絞りながら工夫できることもあります。

最後に、これ以上空き店舗を増やさないよう、既存店舗にサポートも必要だと思います。一つ一つのお店が地域に根付いていくことが最も重要だと思います。

(福田会長)

空き店舗についても、多種多様な事例があるかと思いますが、問題意識を持ちしっかりと視察をすることも重要かと思います。

(高橋(隆)委員)

朝霞の農業は都市農業ですが、都市近郊の立地を活かして庭先販売等を行う農家が多くあります。そのような中、朝霞特産を使ったニンジンを使い、今年の農業祭でニンジンジュースを作ってみました。無農薬のニンジンしか作らないという農家だったため、

コストも高いものになりました。これだと、大量出荷は難しいと思います。

一方で、ニンジン以外にも小松菜やほうれん草等も生産されています。JA あさか野においては、直売所や朝霞市内で採れる野菜を使った食堂があっても面白いと思います。どんぶり王選手権もありますが、市内の飲食店に対して新たな市内の農産物を提供できるよう、発掘していくことが重要だと思っています。

(福田会長)

製造業の技術も地域資源になり得ますが、やはり農産物は地域の大きな資源だと思います。小金井市でも江戸東京野菜ということで、地元で連携しながらメニューにしている事例もあります。

(清水委員)

農業の部分で申し上げると、担い手不足や高齢化が大きな課題になっていると思います。その中で記載のあるとおり、担い手の確保等によって盛り上げていければと思います。

また朝霞市は、産地というよりも消費地としての性格が強いと思います。6次産業化ということもありますが、農業と商工が連携して、地元野菜をうまく使ったレストラン等の支援もあり得ると思います。あとは農家の方が市民の方と触れ合うことも、農協として重要であることに加え、4市で連携して情報交換をしていくことも重要かと思います。

(福田会長)

学生や主婦といった人材を確保していくことも重要で、この方々にメニューを考えてもらうことや、出店していく等の支援もあると思います。このあたりも本計画で明らかにしていければ良いと思います。

(小林委員)

これから起業される方等にとっては、国や県からの助成を活用していくことも重要かと思います。年々助成のメニューが増えており、我々、ハローワークの職員でさえ覚えられない数のものが出てきています。金融機関とも連携しながら事業者へ情報発信が必要だと思っています。

また、昔と比べると、女性の社会進出が進み、夜遅くに帰ってくる方が増え、コンビニの立地・利用が増えていることと思います。

(福田会長)

久保委員いかがでしょうか。

(久保委員)

3人の子育てをしています。安心安全の部分が最も気になります。以前朝霞市で中学生が拉致された事件もありましたが、安心して生活ができるような子供を守る街にし

てもらえたら良いと思います。

スマホが情報源になっていますので、朝霞市の不審者情報や農業体験・職業体験等が知ることのできるアプリがあれば良いと思いました。中学生からスマホを持つことが当たり前になっているため、中学生等に向けたものもあれば良いと思いました。

また日常的に集う場としては、児童館等になると思います。

プチ起業については、している人・したいと言っている人も多いです。家事育児をしながらでもそうした意見を聞きます。

(福田会長)

プチ起業が一般的かどうかは不明ですが、女性の起業として、趣味の延長線上から進めていくということもあり得るかと思えます。そうした実績を紹介するセミナー等もやっていると、「起業するなら朝霞」という風潮になっていけば、職住近接や安心・安全面のPRにも良いと思います。

(後藤氏)

交通事業者としては、「暮らしにマッチした生活環境の創造」にある拠点づくりについて、拠点を駅に持たせることもできると思っております。商店街も駅中心に伸びていることと思いますが、例えば農産物を駅で販売する等の取組も良いと思います。

(福田会長)

高架下の活用は JR、京急、相鉄等が積極的に取組んでいます。医療機関や店舗の利用等の活用ができる場面があります。放置していても何も生み出さないため、産業に関する取組の可能性もあると思います。

それでは、この資料④の方向性をベースに今後も進めていくということによろしいでしょうか。

【異議なし】

(福田会長)

それでは、その他の部分で事務局より御説明をお願いします。

【大貫主査より、視察の案内及び国法制度等の状況について報告】

(事務局：大貫)

次回会議の第6回についてですが、皆様の日程を調整させていただいたところ7月26日(木)の午後3時からとさせていただきます。

それでは以上で、本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。

以上